

広報

なまきじん

No. 60

1980 11月

村章

(毎月1日発行)



▲今帰仁城跡の発掘で中国陶磁器など出土
(写真=旧道の発掘、関連記事4面に)

今帰仁村の人口(昭和55年9月30日現在)

人口 10,179人(+14)

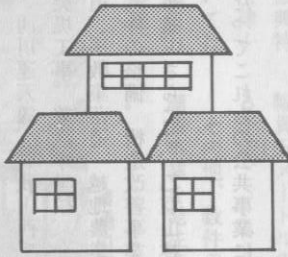
()内は前月比



5,137人(+8)



5,042人(+6)



世帯数 2,737人(+2)

- 目次
- 二三 着々と進む村の公共事業
 - 四 今帰仁城跡発掘だより
 - 五 多くの学校わたしの学校
 - 六 北部地区畜産共進会
 - 七 高齢者学級が移動学習
 - 八 頑張っています「村陸上クラブ」
 - 九 村民コーナー私の一音
 - 十 私の体験を通して「伊佐真昭
 - 十一 十一月は国民年金普及月間

編集発行：今帰仁村役場企画室

〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話 098056-2101

印刷：沖縄高速印刷株式会社

南風原町字兼城577 電話0988-89-5513



▲東部土地改良工事

着々と進む村の公共事業

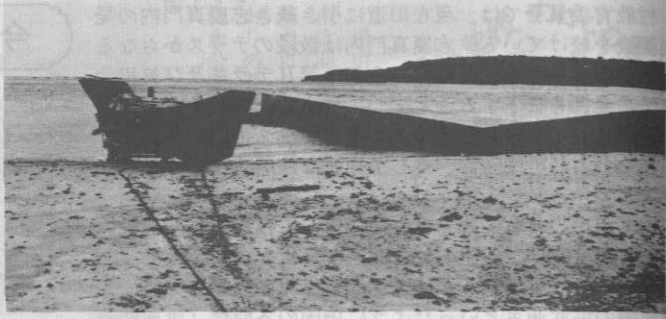
東部土地改良・モデル事業・構造改善 事業・村道整備・漁港整備・学校建設など

年度も中盤に入り、村内各地で五十五年度の公共工事が今盛んに進められています。今年度行なわれる公共事業は東部土地改良事業、湧川運天線、呉我山西アザナ線、を含む数件の村道整備事業。さらに運天漁港突堤工事、兼次中学校、今帰仁小学校の校舎建築。モデル事業として、今泊集落道、平敷集落道、越地農業排水、勢理客集落排水、上運天集落排水、湧川集落道の六件の整備。構造改善事業による崎山ハウス団地共同温室、肉用牛生産基地育成事業。さらには、乙羽山林道開設事業。特別会計として、天底簡易水道工事など。広報なきじんでは、今月号と来月号の二回にわたってこれらの公共事業について紹介してみたいと思います。

四・七ヘクタールの区画を整備 今年度の東部土地改良工事

今帰仁東部土地改良区(諸喜田幸福理事長、受益農家一一五戸)の五十五年度のは場整備工事が現在急ピッチで進められています。今年度は、五、七ヘクタールの区画整理、三ヘクタールの農用地開発工事が行なわれる予定です。六月二十五日から今帰仁建設によって着工され十一月二十一日に完了する予定です。工事費は七、八〇〇万円、内訳は国補助五、八五〇万円(七五%)、県補助九七五万円(十二・五%)、村補助三九〇万円(五%)、受益者負担が五八五万円(七・五%)となっています。東部土地改良区は、勢理客、上運天地域に位置し、五十四年度から五十八年度までの五カ年間にわたって計画され、区画整理二一、四ヘクタール、農用地一六、

四ヘクタールが整備されます。五十四年度には五、九ヘクタールがすでに整備され、幹線農道の整備がなされるとともに、一時利用地(仮換地)も済み、現在、夏植のさとうきびが青々と芽をふいています。なお、今年度からは排水路、農道も新設される予定です、大規模で近代的な機械農業と農家所得の拡大が図られるものと期待されています。



▶整備された突堤

突堤工事を着工 運天漁港整備

昭和四十七年から始まった運天漁港の整備は、これまで船揚場、航路浚渫、突堤等の整備がなされてきました。今年度行なわれている突堤工事は七月三十一日から島政組によって着工されており、来月(十二月)までには延長四十九メートル、幅三、五メートルの突堤が完成します。総事業費は二、五二〇万円、内訳は国補助が一、六八〇万円、県補助が四六二万

▲モデル事業による今泊集落道整備

整備される村道

湧川運天線・今帰仁中央線など

湧川運天線の天底から県道本部循環線までの延長九二〇メートル、幅員八、二メートルの改良工事が新城組によって進められています。請負金額は四、七〇〇万円、国補助が三、七六〇万円(八〇%)、村負担が九四〇万円(二〇%)となっており、来年の二月二〇日には完了する予定です。昭和四十九年から着工したこの路線は、これまで年次計画で改良が進められてきましたが、これで三、〇一七メートルの全延長の改良が完了することになり、舗装も五十六年度には完了する予定です。

場、漁具干し場、防波堤、泊地、及び航路浚渫等が計画されています。また、古宇利漁港についても来年度から漁港基盤整備が計画されています。

呉我山西アザナ線

過疎債を利用した村単独の呉我山西アザナ線(スルミチ線)の改良工事が十月二十二日から着工されています。総工費は二四七〇万円、請負は岸本造園(岸本晃代表) 来年の三月末日までには、延長四五〇メートル幅員五メートルの改良がなされる予定です。その他、数件の村単独の改良舗装事業を発注する計画です。

▲湧川運天線改良工事

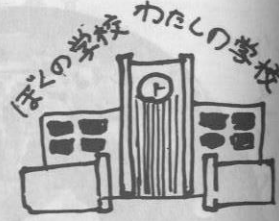
今帰仁中央線

過疎法による県代行事業としての今帰仁中央線(仲宗根一崎





湧川小中学校は北は乙羽山、南は羽地内海を望む風光明媚な高台に位置している。四季おりおりの草花が咲き乱れる校庭の記念公園には「山深く 谷深け



庭球の活躍が著るしい

湧川小中学校 仲のよい児童・生徒

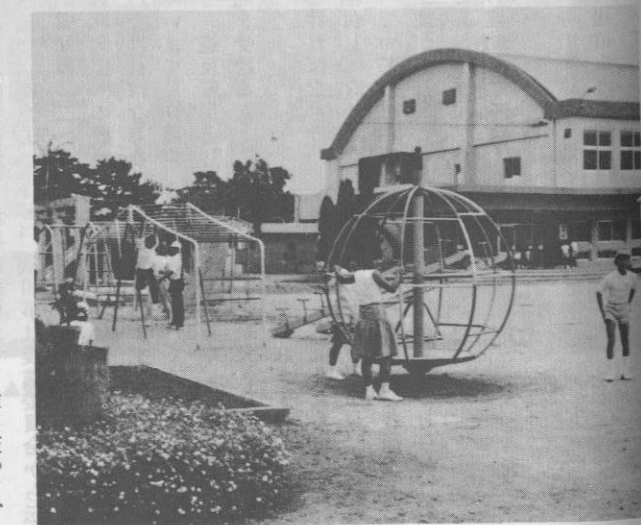
ればこそ 湧川の湧きて尽きせぬ 水のありけり」という元琉球大学学長島袋俊一（寂庵）先生の詩が歌碑として建立されている。この詩には富山大学の黒坂富治先生の

曲がつけられ、児童、生徒、職員、地域の人々に愛誦されているという。
一九四五年十一月学校設立認可され、四六年湧川初等学校（八年）となる。一九四八年の学制六・三・三制施行の時、独立初等学校になり、一九五〇年に中学校を併置し現在に至っている。

区は村内では古宇利小中と同校の二校だけで、地域で支える学校として定評がある。志良堂清次郎校長は「幼稚園生から小学生、中学生まで驚くほど仲がよい。少人数で九年間学ぶので生徒間のトラブルがなく、徹底した教育ができるので生徒間の差がないのも特徴」と話しているところもあって競争意識がなく、一般的に精神的弱さがある。高校や社会へ出て荒波をのりきることができるとかどうか」という懸念も少なくない。

同校を語る時に忘れてはならないのは庭球での活躍であろう。その足跡を少したどってみると、一九六八年―全沖中学校庭球大会優勝。一九六九年―全沖中学校新人庭球大会優勝。一九七六年―第三回当山杯庭球大会二年男子優勝。一九七七年―全沖新人庭球大会優勝。全九州中学校庭球大会個人戦で男子優勝、女子三位。一九八〇年―県中体連に地区代表として団体、個人戦

に出場。全九州庭球選手権個人戦に県代表として出場...など、輝かしい実績は他に類をみない。生徒の中にはも伝統を守る気持ちも強い。最近ではバレーボールや卓球にも力をつけてきた。



PTAの活動も活発で、準会員も含め字全体がPTA会員という特殊な例を持ち、学校を大事にしたいという気持ちも他校よりも強い。これまで区長がP

TA副会長という殻を破って、今年、副会長に美樹園の知念孝俊氏が就任するなど改革も図られている。

湧川小中学校の生徒数

小 学 校							小計
学年	1	2	3	4	5	6	
男	9	6	3	7	2	12	46
女	5	4	10	9	2	7	44
計	14	10	13	16	4	19	90

中 学 校				小計	合計
学年	1	2	3		
男	15	6	7	28	74
女	11	8	12	31	75
計	26	14	19	59	149

校長	志良堂 清次郎
教頭	宮城 司
PTA会長	沢 安博
職員	19
うち教諭	15
養護教諭	1
事務	1
事務	1
事務	1

今帰仁城跡・志慶真門発掘だより

志慶真門で 建物遺構検出される

村教育委員会では、現在旧道に引き続き志慶真門内の発掘調査を続けている。志慶真門内は数段のテラスからなるゆるやかな地形をした曲輪。今年には第IIテラス及び第IIIテラスの発掘を終了する予定で、これまでに第IIテラス地区の発掘を終了した。今回はこの第IIテラス地区から出土した遺物の古銭や陶磁器、そして複雑な住居遺構などを簡単に記していきたいと思う。

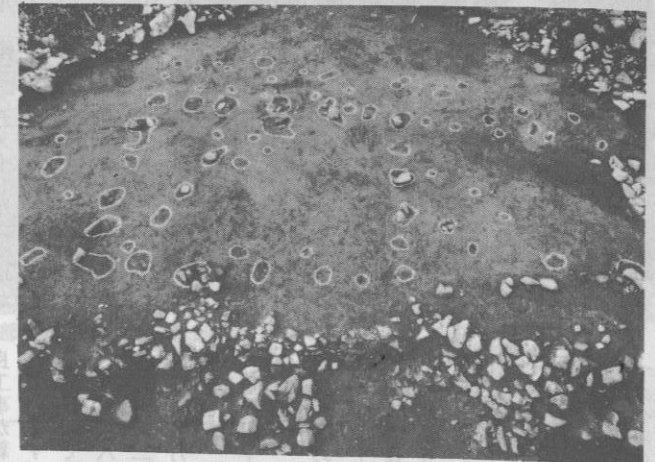
まず出土した有文銭を古い順に追ってみると①8世紀頃の乾元重宝②10世紀頃の乾徳元宝③11世紀頃の元宝通宝④12世紀頃の崇寧重宝・正隆元宝⑤13世紀頃の端平元宝⑥14世紀頃の洪武通宝といったように中国の各時代（唐～明時代）の有文銭が検出されており、他に無文銭で年代不明なものも何枚か出土している。

陶磁器類の出土品の主なものは、南床の天目茶碗、元時代の青花壺片、明時代の青磁、白磁、染付片、赤絵、朝鮮の高麗青磁、タイ・ベトナム系の染付や南中国地方の陶器など。

鉄器類では、槍鉋と思われるものや、刀の一部分そしておびただしい数の鉄釘。銅器としては、刀の切羽や鎧の外装に装着する武具（小札？）また装飾用品が祭祀用品と思われるガラス製の玉等も発掘されている。

さらに掘立柱の建物遺構が発掘され、グスク時代（13～15世紀）の建物がどんなものであったかの推察ができる。第IIテラスでは、建物の立替えのため3回ぐらいの造成工事を行っていることが確認できる。また住居地遺構内で火を焚いた「炉跡」も確認され、炭化した米や麦などの穀物類も多く、獣魚骨なども多量に検出され食住の内部の一部が明らかになっている。

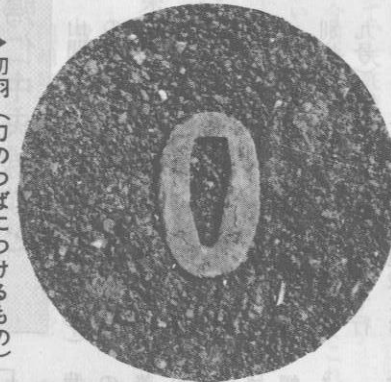
なお、この発掘調査には、県教育庁文化課主任専門員金武正紀さんを初め、宮里未廣さん、村教育委員会の松田朝雄、大城京子、今泊の大城菊松、諸喜田友助、古波蔵キミ、新城春子、玉城政子、玉城苗子、玉城静江、新原房子、仲宗根豊子、玉城安子、城間広子の皆さんが頑張っています。発掘調査団では現場見学も歓迎していますのでお気軽にどうぞ。



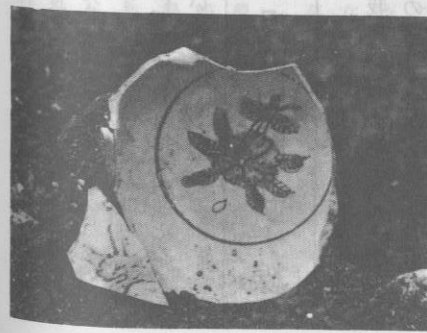
▲建物遺構（柱穴群）



▶崇寧重宝（北宋銭一一〇二年）



▶切羽（刀のつばにつけるもの）



▲出土した黄地青花



▶志慶真門の発掘

大城さんのハンブシャーが優等に

北部畜産共進会で

★ 上位入賞を果たした村家畜 ★

北部畜産振興会（並里安博会長）主催による「第五回北部地区畜産共進会」が、十月二十二日、今帰仁村宮家畜せり市場で開催されました。

地区共進会は、北部地域の畜産振興と優良家畜の育成のために行なわれたもので、北部地区十二市町村から百十九頭の牛、豚が出品されました。

上位入賞が期待される本村からは二十二頭が出品され、ハンブシャー（字仲宗根）が優等を獲得した外、数多くの上位入賞を果たしました。今帰仁村関係の入賞者は次のとおりです。

- 肉用牛未経産の部
 - 一等一席 仲村繁（勢理客）
 - 二等二席 仲本薫（崎山）
- 肉用牛経産の部
 - 一等一席 仲原正春（今泊）
 - 二等二席 渡久山祐弘（運天）
- 種豚（ランドレース）未経産の部
 - 一等一席 仲村繁（勢理客）
 - 二等二席 仲本薫（崎山）
- 種豚（ランドレース）経産の部
 - 一等一席 仲原正春（今泊）
 - 二等二席 渡久山祐弘（運天）
- 種豚（ランドレース）未経産の部
 - 一等一席 仲村繁（勢理客）
 - 二等二席 仲本薫（崎山）
- 種豚（ランドレース）経産の部
 - 一等一席 仲原正春（今泊）
 - 二等二席 渡久山祐弘（運天）
- 肉牛去勢肥育牛の部
 - 一等一席 田港朝明（湧川）
 - 二等二席 山城昌真（兼次）
- ハンプシャー（字仲宗根）の部
 - 一等一席 上里光秀（崎山）
 - 二等一席 仲本達美（崎山）



▲ 肉用牛の審査



▼ 種豚の審査

農地を農地以外に使用する時は必ず農地転用の許可申請を

土地を利用するときは、それが農地であるかどうか、必ず確かめるようにしましょう。

農地を農地以外に使用する時は、必ず農地転用の許可申請を提出する必要があります。

農地転用の許可申請を行なうときは、まずその土地が農地であるかどうかを農業委員会に確かめて下さい。農地である場合は、農地転用の許可申請を行なうようにします。これは、復帰と同時に適用された「農地法」によるもので、県知事（二ヘクタール以上は農林大臣）の農地転用許可を受けなければならぬことになっています。許可申請をしませんと、違反転用として扱われ、罰則を受けることになります。

農地転用の許可が不要です。申請用紙は農業委員会事務局に準備されており、手続きは次のとおりです。

特に注意しなければならぬのは「作物を植付してないとか、雑草がおい繁っていても農地の扱いを受ける土地がある」ということです。さらに、住宅、倉庫、工場などの建物だけでなく、建築資材置場、材木置場、砂利、砂利、コーラル等の集積所、埋土駐車場、墓の建造など農地以外に使用する場合に農

本村においては、墓の建造に違反転用が多く、将来農地造成を計画する際大きな障害になることが懸念されますので、これから農地を計画される方は充分注意して下さい。なお、申請書の提出から許可まで普通二〜三か月かかりますのであらかじめご了承下さい。

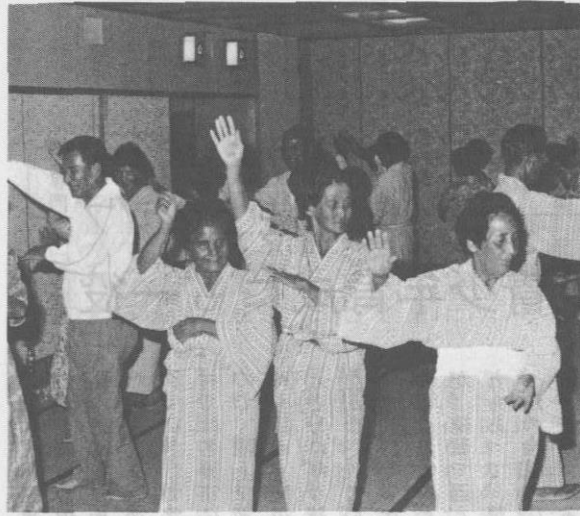
心と心のふれあいを求めて

高齢者学級が移動学習

移動学習を兼ねた、今帰仁、宜野座両村高齢者学級の合同研修会（両村教育委員会共催）が十月十五日、十六日の二日間、名護市多野岳にある「勤労者いこいの村おきなわ」で催された。眼下に広がる羽地内海の眺望を楽しみながら、一日目は両村八チーム編成によるゲートボール大会が行なわれた。夜の交換研修には全員が揃い、山内昌藤今帰仁村社会教育指導員の講話の後、両村主事のリードでゲームやレクリエーションを楽しん

だ。泡盛がでたところからは、会場も一段と和やかなムード。三味や太鼓にあわせて今帰仁ナークニーから宜野座の祝い節など、バライテイに富んだ出し物で賑い、はてはカラオケを歌い出す若者も。夜の更けるのもつたいないという声が聞こえる中で、十時には「てんさぐぬ花」を合唱し閉会した。

二日目は、六時三十分起床し軽いトレーニング、体操、ゲームの後、研修会の反省とアンケート調査で全日程を終了した。



今回の研修のテーマが、心と心のふれあいを求めて——というだけあって、大自然に親しみながらの両村の交流は有意義なものとなり、全員再会を約し握手を交わしながら帰路についた。

南米帰国者の歓迎会を開催

昭和初期年代に海外へ移住した人が、現在の今帰仁の姿を目前にするとどういう心境だろうか。そう思う時、長く時は短かい半世紀が歴史の重みとなって胸にせまるものがある。



▲ 歓迎会での記念撮影

今回帰国されたのは、アルゼンチンの上原清利美さんご家族（兼次出身）と那嶺庄新さんご家族（諸志出身）玉城源松さんご家族（諸志出身）ブラジル在の島袋吉成さんご家族（諸志出身）城間孫次郎さんご家族（平敷出身）松本伝忠さんご家族（謝名出身）嘉陽宗信さんご家族（湧川出身）の総勢十五名。

歓迎会では「長い間のご苦労に敬意を表するとともに、これから村や村民を指導してほしい」という松田村長の歓迎の言葉の後、懇談に入った。

上原さんは「郷里をおもう気持ちには郷里の人と同じ」と話し、沖繩を緑と花の島にしたいと、南米産のジャカランタやラパチヨの種子を送っているという。ブラジルで角力の審判も勤める嘉陽さんは「いつになっても村や松、城跡が印象に残る」と話し、松本さんは「沖繩の発展に感激した」と感慨深げ。さらに「沖繩の人はどうして会合に奥さんを同伴しないのですか」という質問に生活習慣の違いをみせた一幕もあり、時の過ぎるのを忘れて昔話や南米での生活の様子を語りあった。

頑張っています

技術と精神の向上を図る 村陸上クラブ

青少年育成にも一役

昭和五十三年三月十一日、村の陸上競技の振興とスポーツ精神の高揚を図る目的で結成された村陸上クラブ。本格的な陸上クラブとして北部市町村では名護市に次ぐもので、陸上ファンの期待を集め、底辺の拡大とともに年々技術の向上がなされている。

当初、中学生や高校生も会員に含めていたが、練習で遅くなることもあって、現在では一般の会員二〇名が練習を続けている。毎週第四日曜日には合同練習が行なわれ、第二金曜日には中高校生を対象に月例会を開催。これまで中学生で十分五〇秒（三キロ）がベストだったのが三カ



▲国頭郡陸上競技大会で活躍する村陸上クラブ員（写真=40代百メートルで健闘したクラブ長の仲宗根さん）

月目で十分を割る選手もいる。クラブ長の仲宗根武一さん（本今消防）は「記録会や練習に参加した生徒は、会員が必ず車で送っており、スポーツをすることによって青少年の育成にもなる」と話しており、生徒の父兄に喜ばれている。

役員はクラブ長の仲宗根さんをリーダーに、副クラブ長に川上清さん（川上写真館）島袋宗弘さん（本今消防）書記に川上勉さん（本今消防）の外、松田村長内閣体協長など十二人の顧問がいる。

同クラブ主催による恒例の「新春マラソン大会」は年々参加者が増え、来年も一月二日に開催される予定だが、これまでなかった四〇代以上のプログラムもあり「四〇代以上の方も今から練習して参加してほしい」と呼びかけている。

第6回月例記録会(S55.10.9)

(中学校の部) 3,000m (一般、高校の部) 5,000m

着順	氏名	ゼッケン	記録	着順	氏名	ゼッケン	記録	
今兼	1 大城 泰高	46	9分54秒	1	浜里 正己	74	15分53秒	
今兼	2 田場 盛史	11	9分55秒	2	嶺井 政隆	77	16分03秒	
今兼	3 嘉陽 宗彦	7	10分14秒	3	平良 芳則	95	16分26秒	
今兼	4 金城 隆盛	12	10分16秒	4	嘉陽 宗真	93	17分07秒	
今兼	5 伊良波 幸利	41	10分21秒	5	天久 晴令	86	17分12秒	
今兼	6 玉城 陸男	40	10分37秒	6	西平 賀勝	54	17分16秒	
今兼	7 仲村 渠武	31	10分39秒	7	山城 嘉	91	17分31秒	
今兼	8 仲宗根 宗和	3	10分53秒	8	萩堂 吉也	92	17分37秒	
今兼	9 長浜 陸夫	6	10分58秒	9	与儀 充哉	61	17分40秒	
今兼	10 玉城 満	8	11分10秒	10	謝花 喜隆	80	17分41秒	
今兼	11 松田 文男	38	11分12秒	11	浜里 良太	52	17分43秒	
今兼	12 大城 薫	9	11分13秒	12	城間 肇	97	18分02秒	
今兼	13 喜屋武 直樹	21	12分15秒	13	知念 明	94	18分05秒	
躍進賞 一般高校の部				14	仲本 光秀	58	18分06秒	
1位 萩堂 吉也				42秒	15	仲村 司	64	18分19秒
2位 金城 佳昌				40秒	16	安田 弘	72	18分28秒
3位 仲本 光秀				30秒	17	安里 邦男	65	18分32秒
躍進賞 中学校の部				18	与那 嶺誠	75	19分05秒	
1位 具志堅 正明				32秒	19	川上 清	73	21分30秒
2位 金城 隆盛				26秒				
3位 玉城 陸男				24秒				



去る九月二十四日、午後三時頃、村中央公民館でNHKの佐藤さんという方と村社教主事の玉城勝男君の三人でNHKの企画の説明を聞く。NHKでは一応ある程度村内の下調をしての計画で、話題の窓の「民話紀行」を取材するという。早速乙羽山のテレビサテライト局に案内し、山上より村内のたなずまいをみてもらった。その時、琉装の美女の姿も画面に入りたいから考えてくれとのことだった。

私はその日からカメラ片手に東奔西走美人を探し求めた。居るも居る、あまり多くて困っていたが、日は一日一日と追いついてくるし思うように撮れなかった。この美人探しには、私自身としても絵画のモデル探しもあったので一石二鳥の思いだった。ところが、いざ誰れか一人に決めなければいけない時点で、どうして決めるべきかで迷ってしまった。そこで、専門家に頼む以外にないと思い、八人の写真を

今帰仁う神について

字兼次四七

玉城 鎮 夫

(村文化財保存調査委員)

持参して或る美粧院を訪ねた。幸いにして三人の美粧専門の方がおられたので「顔、身長、体重、年齢等も参考に、琉装にしたらどの娘がよく似合うか」を考慮の第一条件にして、三人に選定して俄づくりの今帰仁美人を仕立て、やつと撮影時間間に合わせることができ、やれやれと胸をなでおろした。

今回でつくづく痛感させられたのは、我が村が何故「村まつり」にミス今帰仁の選出まで考え及ばなかったかということである。

来年以降も今帰仁村まつりは続行されるものと思うので、来年から必ず年々ミス今帰仁を選出してもらい、いざの場合の今帰仁う神（今帰仁美人）の事急な必要があれば直ぐにも応ぜられる体勢を整えておくべきことを切望する次第である。応募には、水着、和服、洋服、琉装といろいろ考慮してみたいかがだろうか。もし、これが実施さ

れた場合は、村内の多数の美女が応募し、貴女も彼女も皆一度は今帰仁う神になってもらいたいことを祈るものである。

このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。

村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場企画室広報係までお寄せ下さい。

なお、ご意見は四百字以内、原稿用紙二枚程度で、住所、氏名、職業を添えて下さい。

※あて先
今帰仁村字仲宗根二一九
村役場企画室広報係（TEL—二一〇一）

村出身の歌手

大井学独唱会

11月13日今中

村出身の著名な音楽活動家のリサ・イタル実施によって、村民が音楽に楽しみ豊かな心を養う機会にしようというものです。

対象は、小学校五・六年生、中学生、高校生、一般村民で、入場料は百円。当日は約一時間半にわたって、宮良長包作品、山田耕作作品、イタリヤ歌曲等が披露されます。ピアノ伴奏は元北山高校教諭の宮城淳氏。

大井学氏は昭和十六年生れで字兼次出身の大井清氏の二男。小学校四年まで天底小学校に在学し後に那覇に移住。那覇高校を経て武蔵野音楽大学入学以後米留学。現在、那覇市民会館で毎年リサイタルを行っている外、本土や米国でも幅広い活躍を続けています。

松田村長 玉城徳助さんに 普及事業表彰

市町村長会など、関係者四百人が参加し三十周年を祝いました。その中で功労者に対する表彰が行なわれ、本村の松田村長と玉城徳助さん（字仲尾次）に「普及事業の良き協力者として農業の改良、農家生活の改善、農村青年の育成に寄与した」として、県知事より感謝状と記念品の贈呈が行なわれました。さらに、表彰者三十六人を代表して松田村長がお礼のあいさつを述べました。

内閣助役が防犯 推進本部より表彰

村助役の内閣敏氏が、十月十日に行なわれた沖縄県防犯大会において、沖縄県防犯対策推進本部長（西銘順治氏）より表彰されました。

内閣助役の内閣敏氏は、地域防犯に深い関心を寄せ、自主防犯活動の推進によって防犯思想の高揚と明るい地域社会の建設に大きく貢献したというものです。



年々盛んになる花卉園芸。ここ今本土出荷をひかえ、村の各地で花きの植付が行なわれている。今今字謝名の松本政雄さん方でもグラジオラスの植付に余念がない。植付けた花きは来年2月～3月に出荷できるという。

私は生まれながらのろうあ者です。父は去った大戦のとき中...



私の体験をとおして

字湧川七三〇—一 伊佐真昭

ある日、役場の福祉事の上間カズ先生が見え「あなたの学...

寒い冬の四時頃に起き出し毛布にくるまって運動場のかたすみ...

が、聞えないために受けるあらゆる苦難を乗り越え自分のわが...

で適性検査を受けましたら無事にパス、翌日から今帰仁自練で...

栄鉄工に就職できました。仕事のある喜び、働ける喜びを胸一...

十一月は

国民年金普及推進月間

期間中年金相談や説明会を開催

十一月は国民年金普及推進月間です。普及推進月間は、制度の充実...

今帰仁村においても月間中年金相談や年金説明会、広報活動を...

国民年金はわが沖縄でも制度ができてから十年をこすように...

去る六月で無年金者のための特別納付期間も終了しましたが、...

今帰仁村でも残念ながら無年金者(昭和十八年四月一日以前生...

いない者)が六〇名近くも残っています。

昭和十八年四月二日以降生まれた方も早めに手続きを

現在無年金者でない年令(昭和十八年四月二日以降生)でも加入を...

特に昭和十八年四月二日、昭和十九年四月一日生の方で加入...

税を知る週間(11月11日から)

お気軽に相談を

今年も十一月十一日(火)から「税を知る週間」が始まります。

の悩みや疑問などありませんが、税のしくみや使いみち等、少しでも知識を...

税務署では、期間中映画会や、やさしい税の話、相談などを企画...

十一月は所得税の予定納税第二期分の納税をする月です。

人身被害者支出金

七月発行の広報第五六号でもお知らせしましたが、復帰前沖...

りました。この申請も今月(十一月)いっぱいとなっています。

昭和四五年十二月二三日開所

霜田正次氏から本の贈り物

現在、東京都三鷹市で活躍中の作家霜田正次氏(字与那嶺出身、六十七歳)ご夫妻が、十月...

村社協への寄付

字謝名出身でブラジル在住の松本伝忠、信子さんご夫妻より郷里訪問記念として二万円のご...

なきじん版

11月1日～12月2日

村民カレンダー



11/1 土	○古宇利小中第1回インフルエンザ予防接種	17 月	○母親学級 (13:30～16:30、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館) ○商工会主催簿記講習会 (19:00～21:00、商工会事務所21日まで)
2 日		18 火	○ダンス同好会 (20:00、中央公民館)
3 月	○文化の日 ○村老人婦人スポーツ大会(9:00、村営グラウンド) ○空手教室 (2:00、中央公民館)	19 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民会) ○空手教室 (20:00、中央公民館)
4 火	○母親学級 (13:30～16:30、中央公民館) ○ダンス同好会 (20:00、中央公民館)	20 木	○今帰仁小、兼次中第2回インフルエンザ予防接種 ○区長会 (14:00、役場ホール)
5 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民館) ○3才児健診 (13:00、中央公民館) ○区長会 (14:00、役場ホール) ○空手教室 (20:00、中央公民館)	21 金	○湧川小中第2回インフルエンザ予防接種 ○空手教室 (20:00、中央公民館)
6 木	○兼次中第1回インフルエンザ予防接種	22 土	○兼次小第2回インフルエンザ予防接種 ○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室)
7 金	○ポリオ予防接種 (13:00、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)	23 日	○勤労感謝の日
8 土	○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室)	24 月	○勤労感謝の日代休 ○空手教室 (20:00、中央公民館)
9 日	○やんばる展今帰仁移動展 (9:00～18:00、中央公民館、11日まで)	25 火	○母親学級 (13:30～16:30、中央公民館) ○ダンス同好会 (20:00、中央公民館) ○村農業委員会定例会 (10:00、中央公民館)
10 月	○人権相談 (10:30、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館)	26 水	○子豚セリ市 (12:00、村家畜セリ市場) ○心配ごと相談 (13:30、中央公民館) ○DPT(追加、第3回、15:00～16:30、役場ホール) ○空手教室 (20:00、中央公民館)
11 火	○母親学級 (13:30～16:30、中央公民館) ○ダンス同好会 (20:00、中央公民館) ○税を知る週間	27 木	○妊婦相談 (13:00～15:00、役場ホール)
12 水	○乳児健診 (13:00～14:00、役場ホール) ○心配ごと相談 (13:30、中央公民館) ○空手教室 (20:00、中央公民館) ○平和祈願祭 (14:00、仲原馬場前慰霊塔)	28 金	○空手教室 (20:00、中央公民館)
13 木	○天底小第1回インフルエンザ予防接種 ○大井学リサイクル (14:00、今中体育館)	29 土	○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室) ○村商工会青年部主催ダンスパーティー (19:00、役場ホール)
14 金	○今帰仁中第1回インフルエンザ予防接種 ○陸上クラブ月例記録会(17:30、村営グラウンド) ○空手教室 (20:00、中央公民館)	30 日	
15 土	○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室) ○古宇利小中第2回インフルエンザ予防接種	12/1 月	○空手教室 (20:00、中央公民館)
16 日	○肉用牛セリ市 (12:00、村家畜セリ市場)	2 火	○ダンス同好会 (20:00、中央公民館)

編集後記



■十一月三日は文化の日。今日の社会では、いわゆる中央志向型の文化の傾向が強いといわれています。ところが、私たちの周りをみてみると、言葉や生活習慣、風俗など古くから受け継がれた素晴らしい文化が息づいています。しかし、単に継承するだけでなく「新しい文化を創造する」のも今後の私たちに与えられた課題。これを契機に「郷土文化」について考えてみてはいかがでしょうか。

■文化といえは、やんばるの文化展として人気がある「やんばる展今帰仁移動展」が、今月の九日から十一日まで村中央公民館で開催されます。やんばるの絵画、彫刻、書道、陶芸を一堂に集めたもので時間は九時から六時まで。ぜひご覧下さい。

■昭和五十五年国勢調査も皆さんの協力により無事終了することができました。総理府統計局による集計即報は、今年の十二月末に出される予定です。